

◇今後の修学旅行のあり方に関する調査まとめ<速報版>◇

公益財団法人日本修学旅行協会

この調査は2023（令和5）年度に実施された中学校・高等学校の修学旅行に関するものである。全国の国立、公立、私立の中学校 9,944 校から 3,200 校、高等学校 4,791 校から 3,200 校を抽出してアンケート調査を依頼した。回答は中学校 1,038 校（回答率 32.4%）、高等学校 1,123 校（回答率 35.1%）からいただいた。

| 設置者名 | 国立 | 公立 | 私立 | 合計 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| <中学校> | | | | |
| 全国校数 | 68 | 9,095 | 781 | 9,944 |
| 抽出校数 | 68 | 2,393 | 739 | 3,200 |
| 回答校数 | 17 | 822 | 199 | 1,038 |
| 回答率 | 25.0% | 34.4% | 26.9% | 32.4% |
| <高等学校> | | | | |
| 全国校数 | 15 | 3,455 | 1,321 | 4,791 |
| 抽出校数 | 15 | 1,882 | 1,303 | 3,200 |
| 回答校数 | 1 | 704 | 418 | 1,123 |
| 回答率 | 6.7% | 37.4% | 32.1% | 35.1% |

※回答率は、抽出校に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1) 今後、自校の修学旅行のあり方や実施方法に、影響や変化はあるか
- (2) その影響・変化はどのようなものか（実施方面・時期・日程、修学旅行のあり方、実施方法、体験内容）
- (3) 影響・変化の理由・背景

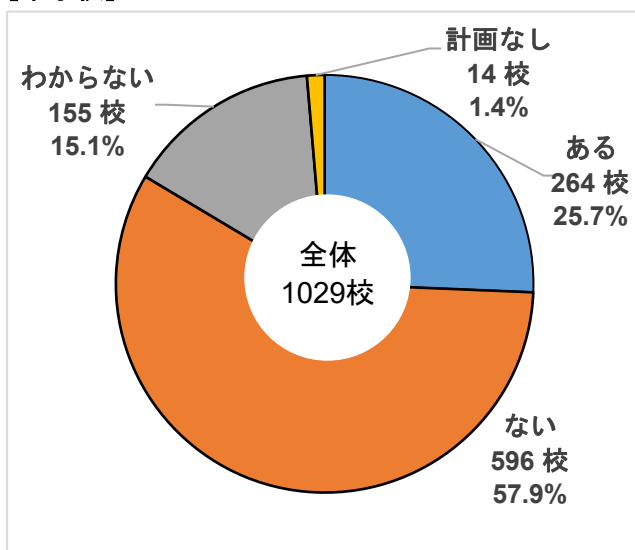
※上記以外に毎年行っている中学校・高等学校の国内修学旅行の実態調査も行った。

その結果は、中学校、高等学校それぞれ別掲する。

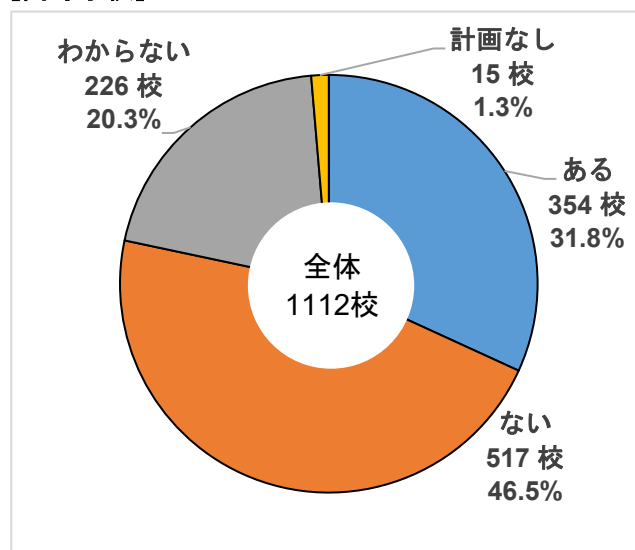
ここではその一部を抜粋して紹介する。なお他の項目および詳細については、当協会発行の「教育旅行年報データブック 2024」（2024 年 12 月 1 日発行予定）をご覧ください。

1 今後の修学旅行のあり方や実施方法に影響や変化はあるか

[中学校]

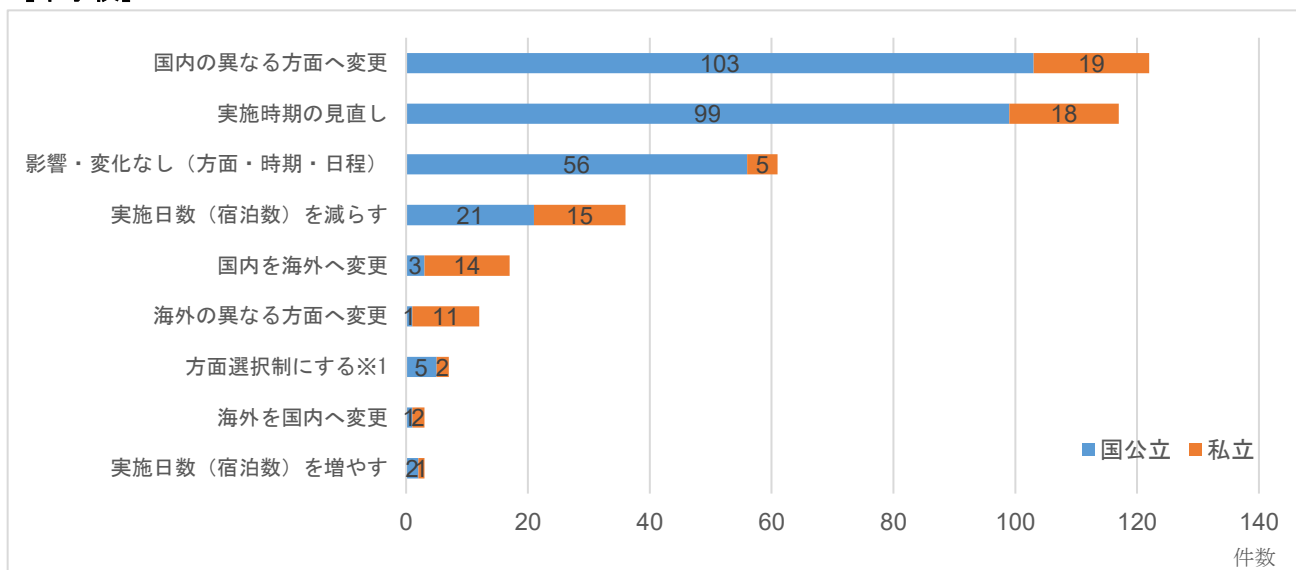


[高等学校]



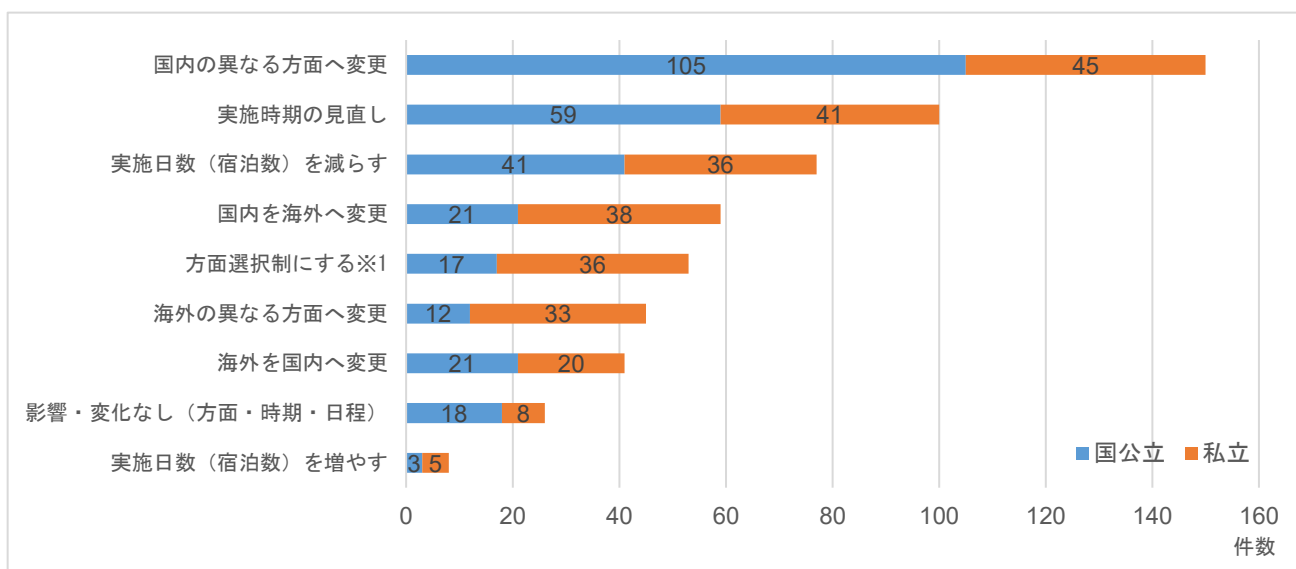
2 今後の影響・変化～実施方面・時期・日程（複数回答可）

[中学校]



※1（国内・海外、国内複数方面より選択等）

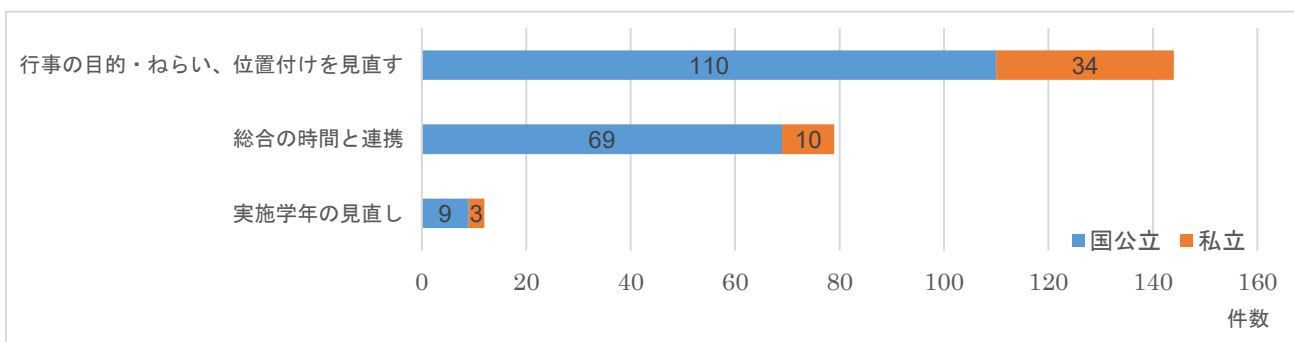
[高等学校]



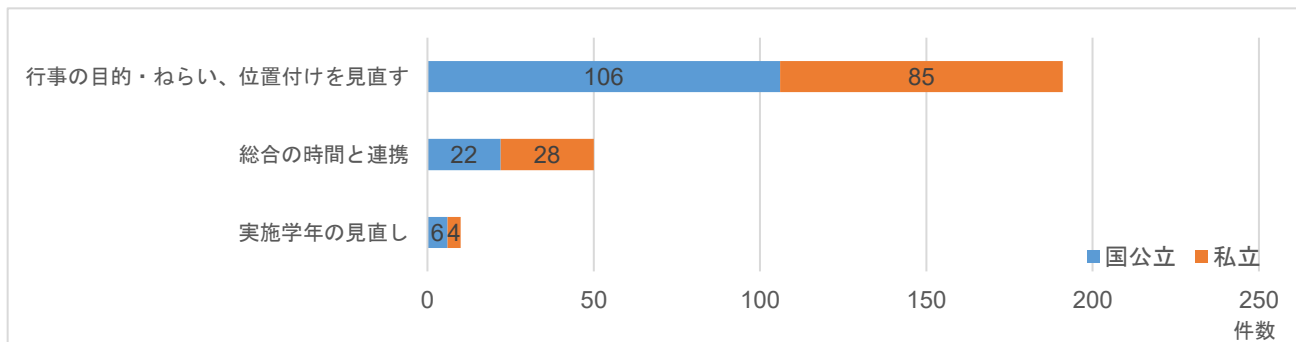
※1（国内・海外、国内複数方面より選択等）

3 今後の影響・変化～修学旅行のあり方（複数回答可）

[中学校]

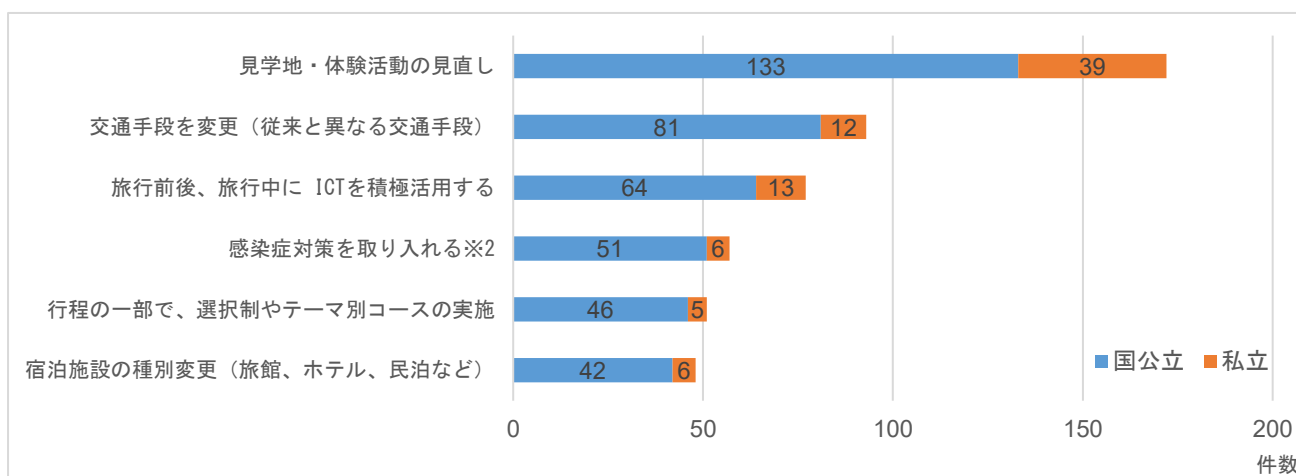


[高等学校]



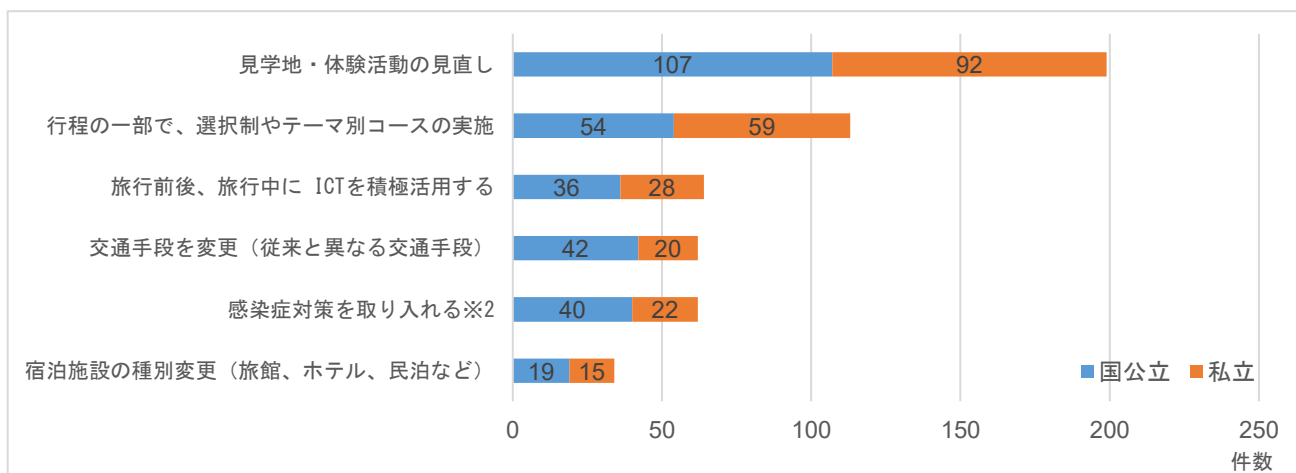
4 今後の影響・変化～実施方法（複数回答可）

[中学校]



※2 （部屋数・保健室の増加、保険の加入等）

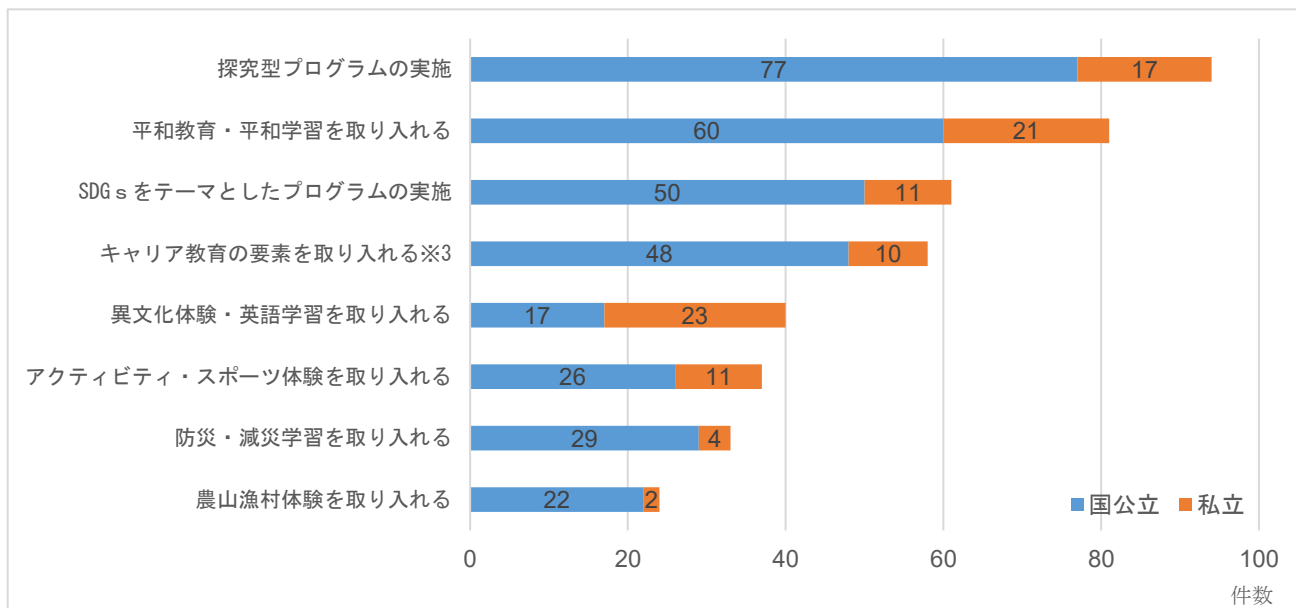
[高等学校]



※2 （部屋数・保健室の増加、保険の加入等）

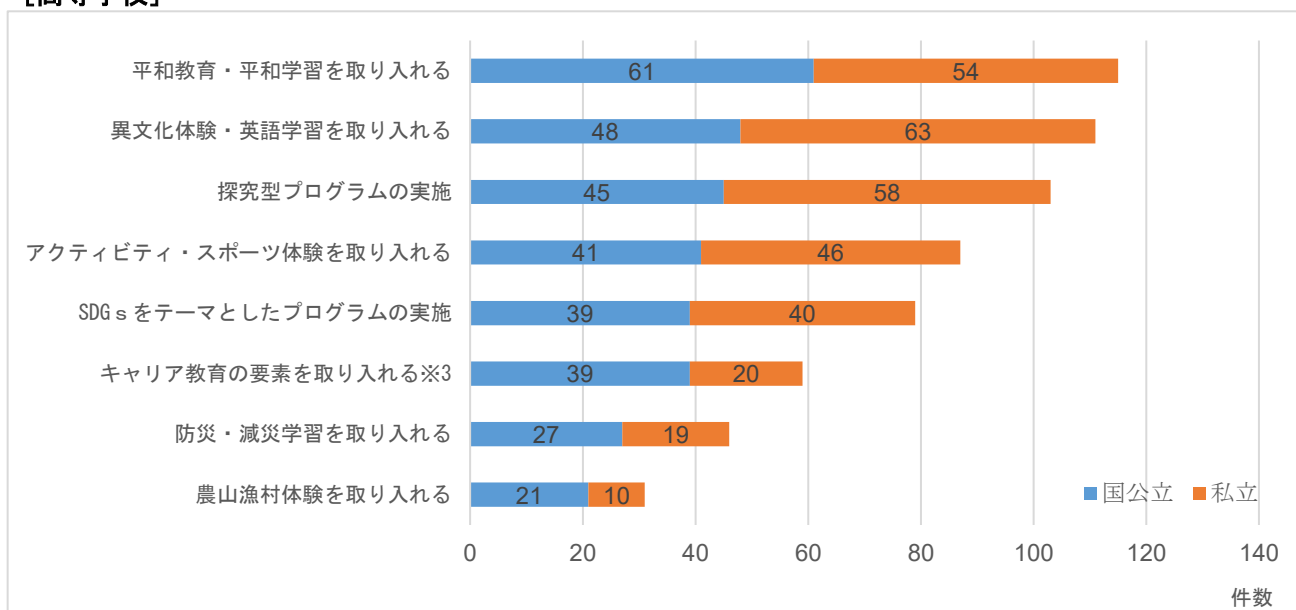
5 今後の影響・変化～体験内容（複数回答可）

[中学校]



※3 （企業訪問・見学含む）

[高等学校]



※3 （企業訪問・見学含む）